





# 令和3年度、福岡県水難救済会活動報告



## 海の日表彰(令和3年7月22日)

多年にわたり水難救済会のボランティア事業に携わり、水難救済思考の普及活動・救済業務の発展に尽力された等の功績が称えられ受賞されました。

表 彰 名	所 属	表彰者氏名(敬称略)
海上保安庁長官表彰	副 会 長	仲 西 利 弘
海上保安庁長官表彰	元 理 事	井 上 清
海上保安庁長官表彰	元 理 事	中 西 利 之
第七管区海上保安本部長表彰	芦屋救難所長	中 西 隆 雄
第七管区海上保安本部長表彰	大岳救難所長	得 能 崇 司
第七管区海上保安本部長表彰	副 会 長	伊 豆 美 沙 子
第七管区海上保安本部長表彰	理 事	末 永 慶 次



▲第七管区海上保安本部長表彰



▲第七管区海上保安本部長表彰



▲第七管区海上保安本部長表彰

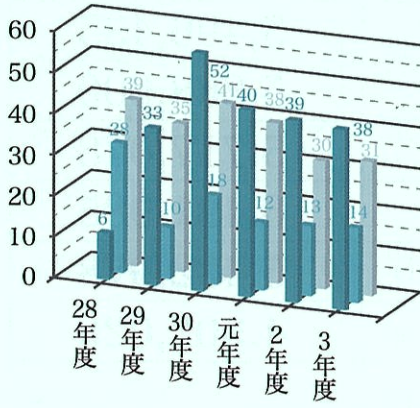
## 参加会議・式典など

開催日	会議名など
4月6日	令和2年度決算監事監査
4月21日	第1回理事会
4月24日	シーバード新宮・福岡開所式
5月17日	第20回定時総会
5月17日	臨時理事会
6月9日	日本水難救済会第129回定時総会

開催日	会議名など
7月22日	「海の日」表彰式典
10月19日	日本水難救済会第2回理事会
10月29日	福岡海上保安部旅客船事故対応訓練
12月3日	第2回理事会
3月15日	第3回理事会

## 救助実績 (令和4年2月末現在)

令和3年度救助出動実績は、  
出動件数**31**件、  
救助船舶数**14**船、  
救助人員**38**名でした。



- 救助出動件数
- 救助船舶数
- 救助人員



令和3年8月21日 姫島救難所



令和3年8月24日 西浦救難所

## 救助訓練

海難救助訓練は、コロナ禍で自粛した救難所がある中で、2救難所で実施されました。



### 火災船消火・浸水船排水・救命索発射訓練

### 福岡海上保安部主催旅客船事故対応訓練

令和3年7月15日  
相島救難所：相島港沖にて実施  
16名（うち救難所員16名）参加

令和3年10月29日  
大岳救難所：能古島西方海域にて実施  
116名（うち救難所員4名）参加



# 青い羽根募金関連報告

いつも、募金へのご協力、  
誠にありがとうございます。



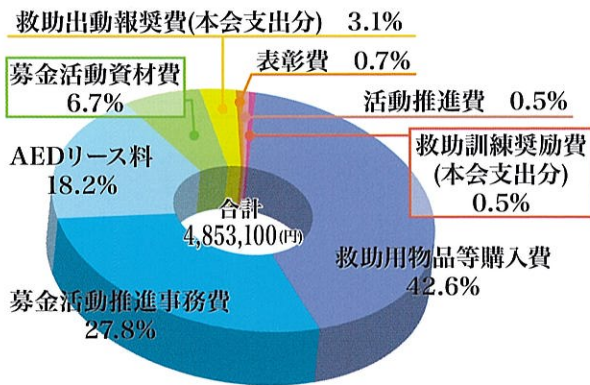
## 青い羽根募金・支援自販機寄附金額

令和4年2月末現在

年度	内訳	青い羽根募金額推移	支援自販機寄附金額推移	青い羽根総募金額
平成27年度		2,422,687	2,781,646	5,204,333
平成28年度		2,476,083	3,020,352	5,496,435
平成29年度		2,553,257	3,315,343	5,868,600
平成30年度		2,496,194	3,220,884	5,717,078
令和元年度		2,931,109	3,560,876	6,491,985
令和2年度		2,533,726	2,869,252	5,402,978
令和3年度		2,471,380	2,430,640	4,902,020

## 募金使途内容

敬称略・順不同



支出科目	支出金額(円)
活動推進費	22,090
募金活動推進事務費	1,347,500
募金活動資材費	324,799
救助用物品等購入費	2,067,118
表彰費	34,392
救助出動報奨費(本会支出分)	150,550
救助訓練奨励費(本会支出分)	21,930
AEDリース料	885,484
<b>合計</b>	<b>4,853,100</b>

## 日本水難救済会会長表彰(予定)

敬称略・順不同

福岡県	航空自衛隊築城基地
福岡県警察本部	第七管区海上保安本部
陸上自衛隊福岡駐屯地	若築建設株式会社九州支店

## 福岡県水難救済会会長表彰(予定)

敬称略・順不同

筑紫野市	陸上自衛隊久留米駐屯地
大野城市	航空自衛隊芦屋基地
宗像市	陸上自衛隊小郡駐屯地
添田町	陸上自衛隊小倉駐屯地
航空自衛隊春日基地	久留米広域消防本部
陸上自衛隊幹部候補生学校	一般財団法人福岡県消防協会

## 救難資器材整備

品名	数	対象救難所	品名	数	対象救難所
作業服(上下)	7	鐘崎、津屋崎救難所	蘇生教育人体モデル	1	有明マリン救難所
作業帽	7	鐘崎、津屋崎救難所	チェストハイウエダー	4	苅田救難所
安全帽(名前入り)	10	地島救難所	ラジアルソール		
投光器(サーチライト)	2	深江救難所	救助船	3	志賀島、西浦
膨張式胴衣 (名前入り)	28	奈多、他3救難所	救助船ステッカー	12	柏原救難所
救命浮環(名前入り)	6	福吉、芥屋 地島救難所	AED用リュックサック	2	
救急セット	3	地島、大川救難所	救助出動Tシャツ	1,000	志賀島、箱崎 他38救難所
毛布	10	地島、芥屋救難所	自動体外式 除細動器(AED)	9	相島、他8救難所
漏電遮断器付き サントイガーリール	2	姫島救難所	携帯用発電機	2	奈多、長浜救難所
			ゴムボート	1	苅田救難所

令和2年度、青い羽根募金支援感謝状贈呈

### 日本水難救済会会長表彰 贈呈団体様(順不同)



若築建設株式会社 様



福岡県 様



福岡県警察本部 様



宗像市 様

### 福岡県水難救済会 会長表彰 贈呈団体様(順不同)



陸上自衛隊小郡駐屯地 様



福岡県消防協会 様

# 支援自販機・青い羽根募金箱設置協力先紹介のお願い。

当救済会では(公社)日本水難救済会指導のもと、青い羽根募金運動を行っているところであり、その一環として青い羽根募金支援自販機(売上の一部を寄附金にあてていただく)設置拡大に努めているところです。

令和4年2月末現在、県内に40台を設置し、海難救助活動を側面から支えていただいています。

支援自販機設置拡大に関し、より一層のご協力をお願いします。

設置先  
ご紹介ください



現在、支援自販機40台、  
青い羽根募金箱11個、  
設置のご協力を  
いただいています。  
令和4年2月末現在



## 支援自販機設置協力先

- 1 芦屋ヨットハーバー
- 2 海峡釣り公園
- 3 唐泊漁港
- 4 道の駅むなかた
- 5 メイトム宗像
- 6 三池港駐車場
- 7 北九州エアターミナル
- 8 三菱化学(株)黒崎事業所
- 9 鐘崎漁業協同組合 製氷工場
- 10 県議会棟待合室

- 11 福岡市消防局
- 12 鐘の岬活魚センター
- 13 ホテル・ザ・ルイガンス
- 14 日鉄ビジネスサービス八幡(株)
- 15 豊築漁協椎田町支所
- 16 豊築漁協椎田町字留津
- 17 日本コークス工業株式会社
- 18 白島国家石油備蓄基地事務所
- 19 大和漁業協同組合
- 20 岐志観光休憩所
- 21 大野島漁業協同組合
- 22 福岡マリーナ

- 23 新宮町バス待合所
- 24 若築建設(株)資料館前
- 25 うみんぐ大島
- 26 岐志新町漁港
- 27 神湊市営渡船ターミナル
- 28 道の駅みやま
- 29 脇田漁港フィッシュアリーナ
- 30 相島漁協
- 31 大島漁協
- 32 七管北九州航空基地
- 33~40 若築建設(短期設置)



## 青い羽根募金箱設置協力先

- 1 オルゴールミュージアム門司港
- 2 若築建設九州支店
- 3 鶴丸海運(株)
- 4 北九州空港(北九州エアターミナル)
- 5 相島救難所
- 6 糸島漁協船越支所
- 7 福岡県民火災共済生活協同組合
- 8 船越救難所
- 9・10 藍島救難所(2ヶ所)
- 11 七管北九州市航空基地

# 海難事故防止への協力をお願い



## 海に出る時は、要事前天候報確認

遠方の台風も波に影響を及ぼすため、天気予報などを必ず確認して事前準備、強風・高波の時は海に出ずスケジュール変更を行いましょう。



## 事故時の救命策確保

ライフジャケットの常時着用は法律で定められています。海に出る時は、家族や身近な人に伝えてみましょう。連絡手段確保のため、スマートフォンは防水パックに入れ、GPS機能をオンしておきましょう。

## 禁止されていることには理由がある

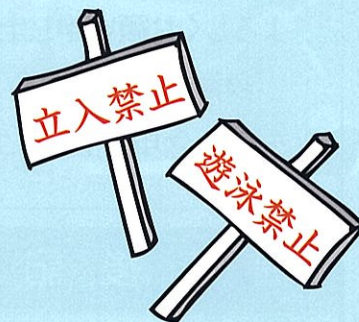
過去に海難事故で被害に遭った人がいる場所を示しています。

自分は大丈夫という過信が、救助に向かう人の命をも危険に晒します。

遊泳禁止ヶ所では、離岸流・土用波・インショアホールの危険があります。

※離岸流:局所的に起きる沖方向へ向かう強い波の流れ。 ※土用波:晩夏に発生する大波。

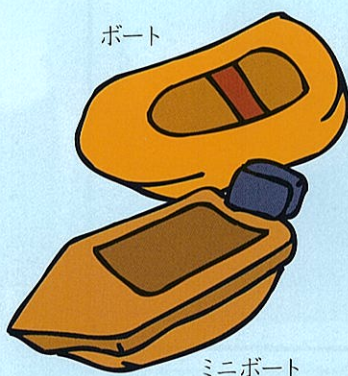
※インショアホール:浅瀬にできる、罌の様な穴。



## 体調管理・注意事項再確認は必須事項

飲酒・体調不良・睡眠不足の時に無理して海にはでない、自身の体力を過信しないでください。

マリンレジャーに挑戦する際は事前注意事項を必ず確認、危険海洋生物の把握を行ってください。



ボート

ミニボート

人気のミニボート・パドルボートなどでの釣りは、波の高さや風向きによっては陸に戻れなくなったり、転覆の恐れがあったり、沖での利用には不向きです。また天候に関わらず漁船など大型船からの視界に入りにくいいため、事故に遭うリスクも高く、利用ルールは厳守しましょう。



パドルボート

カヤック

事故時・緊急時は、海上保安庁・消防・警察へ

海上保安庁 **118** 番へ      消防 **119** 番へ      警察 **110** 番へ

## 「ご挨拶」

県内43ヶ所の救難所員の皆様におかれましては、本業の傍ら日夜、水難救助活動にご尽力をいただいていることに対し、心から敬意を表します。

また、福岡県をはじめ、多くの団体、関係者の皆様のご支援に、そして海難救助訓練等にご指導をいただいている第七管区海上保安本部の皆様には感謝を申し上げます。

本会では、「青い羽根募金」や「支援自販機の設置」について、市町村、関係機関、企業団体等の多大なご協力をいただき、これを活動資金として毎年、救命胴衣、救命浮輪、ロープ等の購入や自動体外式除細動器(AED)の配備に活用し、海難救助出動を行う救難所の救助資機材の整備を図っています。

公益社団法人日本水難救済会主唱のもと、青い羽根募金活動に今後とも積極的に取り組み、福岡県沿岸における水難救済事業を推進し、救難所員の皆様が活動しやすい環境づくりに努めて参りますのでよろしくお願い申し上げます。

救難所員をはじめ、関係機関、賛助会員の皆様のご健勝とご発展をご祈念申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。



公益社団法人  
福岡県水難救済会  
会長 今林 久

## 編集後記

43救難所との意見交換の場として位置付けている救難所長会議が2年連続で開催できませんでした。コロナ禍が終息し、新年度には「青い羽根募金」に対するご協力等について、対面で所長の皆様にご報告できることを期待しています。(事務局)



毎年、7月1日～8月31日を「青い羽根募金強調運動期間」と定め、募金への協力をお願いしています。

ご協力いただいた方へお礼に、「青い羽根(写真参照)」をお渡ししています。



福岡県水難救済会は海難事故に遭った方々の救助を行うボランティア活動を支えるための団体です



公益社団法人

福岡県水難救済会

〒812-8577 福岡市博多区東公園7-7-3F(福岡県防災危機管理局内)

TEL:092-631-1416(直通) FAX:092-402-9955 Mail info@mr-fukuoka.or.jp Web <https://mr-fukuoka.or.jp>

